



平成 30 年度 福井市明新小学校スクールプラン

学校教育目標
自ら学び、心身ともに健康で明るく、人間性豊かな児童の育成

研究主題 **地域とともに歩み、未来を切り拓く子どもたちの育成**
—豊かな心を育むために、多様な関わり合いのある学び—

福井市学校教育目標
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
・確かな学力の向上
・豊かな心の育成
・健やかな体の育成
平成 30 年度 学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」

めざす教職員の姿
・常に学び続ける
・子どものよさを見つけ伸ばす
・地域との関わりを大切にする
・協働体制を築き、ともに汗をかく
・時間を大切にし、業務能率を高める

めざす児童の姿
・豊かな知性をもつ子 しっかり考え正しく判断できる。主体的・計画的に学習できる。
・認め合う子 礼儀正しく、思いやりがあり、互いを尊重し、豊かな心情が持てる。
・粘り強い子 失敗にくじげず、最後までがんばる。自分のことは自分でできる。
・丈夫な子 進んで心や体をきたえ、その努力が続けられる。

藤島中学校区めざす子どもの姿
地域とともに歩み、未来を切り拓く子どもたちの育成



	確かな学力	豊かな心の育成	健やかな心身の育成	信頼される学校づくり
重点目標	◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○基礎・基本の着実な定着による学力向上 ○地域と交流するための、コミュニケーション能力や表現力の育成	◎地域と連携した体験活動を通じた豊かな心を育む教育の推進 ○道徳教育の充実 ○互いの良さを認め合い、安心して自己表現ができる学級集団づくりの推進	◎安全や規則正しい生活を心がけた心身ともに健康な生活の推進 ○個々の子どもに寄り添い、状況に応じた適切な支援の実施 ○運動の楽しさを感じ、意欲的に体を動かす児童の育成	◎保護者、地域との連携を密にした開かれた学校づくりの推進 ○積極的な学校の情報発信および公開 ○保幼小中の接続を重視し、藤島中学校区の各学校や幼保園との連携推進
具体的な取組	・グループ活動や体験的活動等により、協働型、双方向型でコミュニケーション活動を取り入れた授業を積極的に行う。 ・英語科や英語活動の授業公開と授業研究会を通して、授業力の向上に努める。 ・地域について学び、地域を題材とした授業を積極的に行う。 ・読書への意欲を高め、家での読書活動を積極的にすすめる。	・地域コーディネーターを中心に地域と連携し、児童が参画する体験の場を設ける。 ・道徳科の授業公開と授業研究会を通して、授業力の向上に努める。 ・異学年集団活動を実施し、児童の社会性を育成する。 ・各学級において人間関係づくりをねらいとしたグループエンカウンターを実施する。 ・あいさつ運動を通して、地域の方にも元気のよいあいさつができる児童を育成する。	・「明新スマートルール」について定期的に家庭で考える機会をもち、徹底を図る。 ・支援が必要な児童に対して、関係機関との連携による支援や、TT指導や通級指導などによるきめ細かな支援を行う。 ・見守り隊やボランティアの方と協力して、交通安全意識を高める。 ・体育の授業や業間活動において、児童に目標をもたせ活動の意欲を高める。	・学校通信やホームページ・緊急メールを活用し、積極的に情報発信を行う。 ・藤島中学校区および近隣の幼保園への訪問、参観を通して、相互理解を深め、系統性のある学びを実現する。 ・保護者や地域の方々に対し、学校行事や授業参観等に積極的に参加していただく。
数値目標	・協働型、双方向型でコミュニケーション活動を取り入れた授業を、各教科1単元1回以上行った。(教職員 90%以上) ・友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりできた。(児童 85%以上)	・地域と連携し、児童が参画する体験の場を設けた。(教職員 80%以上) ・道徳科の授業や評価についての研究を通して、授業力向上に努めた。(教職員 85%以上) ・家庭や学校だけでなく、地域の方にも元気にあいさつができた。(児童 80%以上)	・我が子が「明新スマートルール」や家庭で決めたルールを守ることができた。(保護者 80%以上) ・「毎日学校に通うのが楽しい」と答えることができた。(児童 100%)	・学校は、「学校日より・学年日より」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。(保護者 95%) ・学校の自由参観日や行事等には、すすんで参加している。(保護者 90%)

【業務改善のための取組】
・会議資料の紙による印刷を廃止し、PC 携帯のもと会議を行う。
・校務分掌の中で、自動でできるものは自動で行うことの徹底。